

同志社法学

総目次

第四六卷

自第三六号
至第二四〇号

論 說

| | 卷 | 号 | 頁 | 頁 |
|------------------------------|-------|---|----|----------------|
| 北朝鮮の憲法と法制…………… | 西尾 | 昭 | 四六 | 一(二二六)一 |
| 明治十四年の政変と「人心」教導構想(下)…………… | 伊藤彌彦 | | 四六 | 一(二二六)一一三 |
| ——福沢諭吉の時代から井上毅の時代へ—— | | | | |
| わが国ただ今の手形行為独立の原則…………… | 手塚尚男 | | 四六 | 二(二三七)一(二四九) |
| 手続終了後の実体的調整に関する一試論(一)…………… | 梶山玉香 | | 四六 | 二(二三七)四〇(二八八) |
| ——過誤配当事例の検討を中心に—— | | | | |
| 国際法における個人の地位…………… | 高橋 悠 | | 四六 | 三(二三八)一(四二三) |
| 天明七年の御所御千度参り…………… | 井ヶ田良治 | | 四六 | 三(二三八)二一(四四三) |
| 法学とポスト・モダン…………… | 駒城鎮一 | | 四六 | 三(二三八)四九(四七二) |
| ——村上淳一氏の所説に寄せて—— | | | | |
| マルティニッチのホップズ解釈…………… | 有馬忠広 | | 四六 | 三(二三八)八三(五〇五) |
| 人権、もう一つの読解…………… | 佐々木允臣 | | 四六 | 三(二三八)一一一(五三三) |
| ——個人の人権から諸関係の人権へ—— | | | | |
| 「不可譲の権利」と「絶対的権利」をめぐる諸問題…………… | 深田三徳 | | 四六 | 三(二三八)一三五(五五七) |
| ——人権概念の生成・発展についての覚え書(3)—— | | | | |

| | | | |
|-------------------------------|------------|---------|----------|
| 世良晃志郎のクレッシェル批判を考へる…………… | 岩野英夫…………… | 三四(三三八) | 一六七(五八九) |
| ——西洋中世法の性格を捉える視角の明確化のために—— | | | |
| モレリの憲法思想…………… | 畑 安次…………… | 三四(三三八) | 二五三(六七五) |
| 「正義と平和」の議論…………… | 舟越耿一…………… | 三四(三三八) | 二八一(七〇三) |
| ——カウフマン『正義—忘れられた平和への道』について—— | | | |
| テイボアの初期論文とキーフナーのテイボー批判…………… | 稲福日出夫…………… | 三四(三三八) | 二九五(七一七) |
| ——「法典論争」への予備的考察—— | | | |
| キケロにおける「法と道徳」…………… | 青野 透…………… | 三四(三三八) | 三一九(七四一) |
| デュルケムの犯罪論と刑罰論…………… | 古川彩二…………… | 三四(三三八) | 三四五(七六七) |
| ——社会的世界のドラマトウルギー—— | | | |
| 日本の被害者学の現状と展望…………… | 瀬川 晃…………… | 五(三三九) | 一(八一三) |
| ——性犯罪被害研究を基点として—— | | | |
| 手続終了後の実体的調整に関する一試論(二・完)…………… | 梶山玉香…………… | 五(三三九) | 二六(八三八) |
| ——過誤配当事例の検討を中心に—— | | | |
| 戦前の日本の法哲学…………… | 八木鉄男…………… | 六(二四〇) | 一(九三九) |
| ——大正期(一九二二—二五)、昭和期(一九二六—四五)—— | | | |

研究ノート

- ドイツ第三者融資取引 (drittfianzierte Geschäfte)
 に関する一考察 (五) …………… 泉 圭子…四六 一 (二三六) 一六九 (一六九)
 — 第三者与信型信用取引の法的構造解明に向けて —
 ドイツ第三者融資取引 (drittfianzierte Geschäfte)
 に関する一考察 (六・完) …………… 泉 圭子…四六 二 (二三七) 一〇五 (三五三)
 — 第三者与信型信用取引の法的構造解明に向けて —
 犯人蔵匿罪と証憑湮滅罪の限界に関する一考察…………… 十河太朗…四六 五 (三三九) 七二 (八八四)
 — 「隠避」概念の検討を中心として —
 アメリカ合衆国における政治制度改革論議 (一)…………… 井上徹也…四六 六 (二四〇) 一二七 (二〇六五)
 — 立憲制検討委員会の提言をめぐって —
 不動産公示の消極的効果としての「不知」の推定 (一)…………… 吉井啓子…四六 六 (二四〇) 一五九 (二〇九七)
 — フランスの不動産公示における「認識」の位置付け —

アルビン・エーザー

妊娠中絶・連邦憲法裁判所判決の………上田健二(訳) ……四六 一(二三六) 二二一(二二二)
具体化のための改正諸試案

アルトゥール・カウフマン記念論文集の紹介(2)

J・M・プリースター

法的に自由な領域と不処罰の妊娠中絶………刑法読書会 ……四六 一(二三六) 二三五(二三五)
アルトゥール・カウフマン記念論文集の紹介(3)

ラルフ・ドライアー

ドイツ社会主義統一党国家に

おける制定法の形をした不法? ……刑法読書会 ……四六 六(二四〇) 二二五(二二五三)
——東独国境法を事例に—— 紹介者・上田健二 稔

その他

八木鉄男名誉教授略年譜および主要著作目録 ……四六 三・四(二三八) 三七七(七九九)